



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2014年9月号 No.348

小鳥の森で観察してみよう 37

ヤブキリ

分類：キリギリス科

大きさ：31～58mm

生態：平地や山の樹上や草むらにすみ、主に夜、活動します。成虫は初め、植物を好みますが、大きくなるにつれて肉食性が強くなっていきます。成虫は約2か月間生きます。

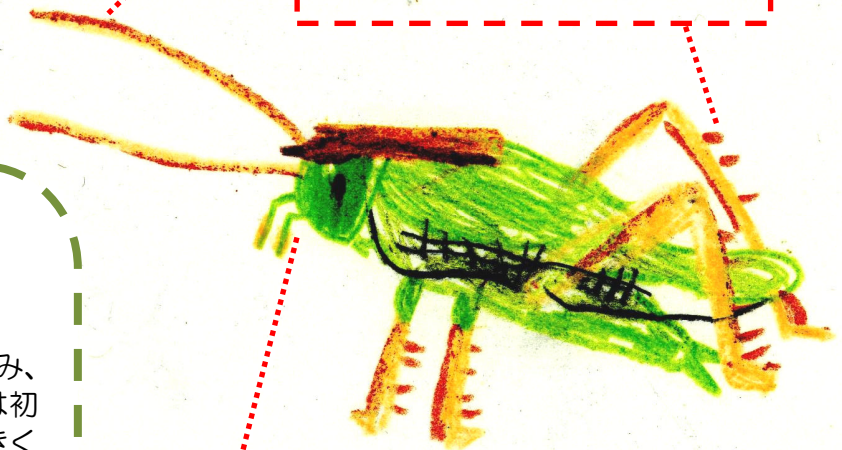
小鳥の森での観察：

園内では、6月から10月まで見ることができます。

長い触覚（しよっかく）を持っています。

後ろあしにトゲを持っています。

大きなあごをもっています。



くどうふうま

今回の絵は、くどうふうまさんが描いてくれました。

9月の自然予報

9月22日は二十四節句のうち「秋分」にあたり、暑さは少しずつ落ち着き、昼と夜の長さがほぼ同じになる日です。

この時期になると、子育てを終えた夏鳥は日本の南へと移動し始めます。南下が始まると、国内は夏鳥が減るため、冬鳥がまだ日本の北の方から来る前までの間、野鳥の音が一旦静かになります。

小鳥の森で生まれたキビタキやサンコウチョウ、クロツグミなどのヒナたちが、しっかりとエサを食べて力をつけ、初めての長い旅が無事に終われたらいいなと思います。

巣立って間もない時のキビタキのヒナ



9月になると、セミの音が落ち着き始め、バッタの仲間の音が目立つようになります。

木の上で生活するアオマツムシや地面で生活するコオロギなど、草むらだけでなく、様々な環境で姿を見かけます。また、種類によって活動する時間が異なります。イナゴやトノサマバッタなどは日中行動し、キリギリスやコオロギなどは主に夜、動きまわります。

バッタは人の足音や振動に敏感で、近づきすぎると鳴くのをやめたり、逃げたりします。

バッタを見る時は、距離をとってそっと見てみましょう。

トノサマバッタ



※小鳥の森では動植物の採取は禁止です。



7、8月の自然



キラキラした緑色のタマムシを知っていますか。晴れた気温の高い日に、サクラやケヤキの木の上を飛んでいました。昼間、成虫は葉を食べて生活し、夜は葉の裏でじっとしています。

成虫になるまでに約3年かかり、成虫になってからは約2か月の命です。

福島県は日本で生息しているタマムシのほぼ北限の地域にあたります。小鳥の森では毎年確認することができます。

虫探しをする時に、樹上も見てみると、タマムシのような普段見る機会の少ない虫に出会えるかもしれません。



タマムシ

今年はタマゴタケをナラの木の下で多く見かけました。

毒をもつ種類の多いテングタケ科の仲間ですが、これは毒がないキノコです。名前の由来は、初めにたまごのような形の白い膜に覆われているところからきています。

地面から出てきたところ



傘を広げたタマゴタケ



小鳥の森スタッフだより

「赤とんぼ」

これからの季節たんぼでは、たくさんの赤とんぼを見かけるようになります。赤とんぼはアカネ科のトンボの総称で、小鳥の森では、ナツアカネ・アキアカネ・ミヤマアカネ・ノシメトンボなどが見られます。

小鳥の森では普通に見られる赤とんぼの仲間ですが、2000年頃から数を減らしていることを皆さんはご存知でしょうか。その原因の一つに、稲を育てる時に使う育苗箱用の殺虫剤の使用があるのではないかとされています。実際に実験した結果、ある特定の農薬を使用するとトンボの羽化を見ることができなくなったそうです。

その他にも福島県では、原発事故の影響で人が住めなくなり、稲作ができなくなった地域があります。これにより、トンボが卵を産んだりヤゴが生活したりする環境が奪われてしまいました。

このように赤とんぼの置かれている状況はあまり良いとは言えません。これからも秋になると当たり前のように赤とんぼが見られるように、小鳥の森では旧棚田に水を張って赤とんぼが生活できる環境を作っています。いつまでも秋の空に舞う赤とんぼを守ってきたいですね。(レンジャー五十嵐悟)



小鳥の森出前講座の案内

当施設では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたり、調整したりすることもできます。(クラフトの材料等は放射線量の低い地域や県外からの寄付で頂いたものを使用しています。)

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話か FAX にて申し込みください。

(※既に希望の日程に予約が入っている場合は対応できない事もありますのでご了承下さい。)



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。

詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森 (ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日 (祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・ <http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2014年9月号No.348/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま